

シリコン塗料のメリット

・コストパフォーマンスが高い

費用対効果が大変高く、単価の割には耐久年数が長いのが大きな特徴です。

シリコン塗料の耐久年数は、7～13年ほどです。その割には、単価は安く済ませる事が出来ます。

その為、機能性塗料を選択しない場合は、シリコン塗料をオススメしてくる塗装屋さんが大半です。

・アクリル塗料と比べて格段に耐久年数が長い

シリコン塗料の耐久年数は7～13年ほどであり、アクリル塗料と比べると約2倍も長持ちするすばらしさです。単価は、アクリル塗料と比べるとお高いですが、耐久年数の長さを比較して考えると断然シリコン塗料の方がお得となります。紫外線に強いので、紫外線の影響を受ける外部の場所に使用するのに非常に適している塗料です。

・汚れにくい塗膜

塗膜が固く撥水性がありますので、物を綺麗に弾く性質があります。

また、低電圧性で汚れが付きにくい性質がありますので、雨や泥、ホコリなどを弾く性質があり長期間綺麗な塗膜を保つ事が出来ます。

・高耐熱性に優れている

約600℃に耐える事が出来る塗膜ですので、暑い地域の外部でも問題なく採用する事が出来ます。

・塗膜の光沢保持率が高く綺麗なツヤが出る

シリコン塗料はツヤのある仕上がりとなり、光沢保持率が大変高い塗料です。

ウレタン塗料と同じ環境で実験した所、シリコン塗料の方は2割ほど高いという結果が出ました。

より長い期間光沢を発揮し、綺麗な塗膜を維持させる事が出来ます。

シリコン塗料のデメリット

・扱いにくい塗料

低粘度の塗料の為に顔料が沈殿しにくく、扱い方に注意して使用しなければいけません。

頻繁に攪拌して使わないといけなく、手間がかかる塗料です。

また、付着性に劣りますので、DIYには不向きな塗料です。

・重ね塗りに不向きな塗料

表面が固い塗膜であり、はっ水性が高いので、付着力が悪く塗り替えの際に密着が悪くなってしまいます。

適したシーラーやフィラーをきちんと塗布する事で、この問題は解決する事が出来ます。

・アクリル塗料より高価

アクリル塗料よりは高価な塗料ですので、DIYで購入しにくい塗料と言えます。しかし、耐候性や耐用年数はシリコン塗料の方が断然上ですので、値段の対比にならない程の高い効果を発揮してくれます。

・ ひび割れしやすい塗膜

塗布後は、それなりの柔らかさも加味している塗膜となりますが、10年後程度に塗膜が固くなってしまい、追従性に劣った塗膜となってしまいます。その為、ひび割れしやすい塗料となってしまいます。建物に動きが生じなければヒビは入りませんが、地震等大きな力が加わった場合、ヒビが起こりやすくなっ

・ シリコン塗料は特殊な効果を発揮する事は出来ない塗料

シリコン塗料は、一般的な塗料であり普及品の塗料です。

普通の塗料であり、無難な塗料であります。

機能性塗料のような特殊な効果は一切発揮出来ませんので、勘違いしてはいけません。

近年、様々な機能性塗料が発売されてきた中で、シリコン塗料はアクリル塗料やウレタン塗料より高価なのだからそれなりの機能を発揮してくれるだろう、と勘違いされるお客様が居るようです。

しかし、防汚性があると言っても一般的な防汚性程度しかありませんので、全く汚れず常にピカピカな状態にはなりません。

特殊な効果を期待したい場合は、他の機能性塗料を検討してみると良いでしょう。

樹脂別に見た期待耐用年数の違い

	期待耐用年数	塗替目安
フッ素樹脂塗料	20年	15～20年
パーフェクトトップ	15年	10～15年
シリコン樹脂塗料	13年	7～13年
アクリル樹脂塗料	6年	3～6年

期待耐用年数：素材、旧塗膜に致命的な影響を与えない状態を維持できる期間

塗替目安：美観維持が出来ておらず、塗膜表層の劣化が始まって来る期間

*** 上記年数は、保証年数とは異なります。**

注意事項

各年数は地域性、立地条件、色彩等により差異が生じる可能性があります。

また、素材により異なりますが、屋根等の条件的に厳しい部位での塗替え目安年数は一般(壁面)の約1/2～2/3の年数になります。